



たんぽぽ

～瞳キラキラ 笑顔きらきら 喜び沢山
戸田市立喜沢小学校

【学校教育目標】

夢と希望をもち

未来社会を心豊かにたくましく生きる

喜沢っ子の育成

喜沢小～

令和5年12月1日(金)

児童一人一人に寄り添った伴走者をめざして

～埼玉県学力・学習状況調査の結果から～

主幹教諭 福田 裕美

寒さを感じる中、今年も残り1か月となりました。クリスマスや冬休み、お正月など年末年始の過ごし方について考える時季となりましたが、一年を振り返る大切な時期でもあります。

本校では、すべての児童が「学校生活が楽しい、学びが楽しい」と言える学校を目指し、個別最適な学びとスクールワイドPBSに取り組んでいます。4～6年生を対象に毎年5月に実施される埼玉県学力・学習状況調査をその取組の成果指標としています。埼玉県学力・学習状況調査の特徴は、「一人一人の学力がどれだけ伸びているのか(学力の伸び)」がわかり、児童の成長していく姿を見ることができるところです。問題毎に学力レベルもわかるため、児童一人一人のつまずきや学びの様子を丁寧に見取ることができます。

結果から、「児童が自分の学びを自分で調整(最適化)し学び続けること」「児童の学びがどれだけ定着しているのかを見取り指導の改善につなげること」を重点にして、授業の改善に取り組んでいます。具体的には、児童が自分のペースで、自分に合う学び方を選択しながら学びを進める授業を行ったり、教師が一人一人の学びの定着を細やかに見取ったりすることを大切にしています。

教師の役割は、これまでのように知識を教えるだけでなく、児童の学びに伴走することが求められています。学び方や自分に合った課題の選択方法、判断基準を教え、児童自身が自分に必要なものや自分にとって学びやすいものを考え、選べるように支援していきます。そのために、児童の学びの伴走者として、一人一人の学びの定着を把握し、個々に合った学びの支援に一層力を入れて取り組んでいきます。

「埼玉県学力・学習状況調査の結果概要」

	学力を伸ばした児童の割合		特に高かった学習方略等 (学習効果を高めるために学習者がとる工夫)
	国語	算数	
4年生	受検初年度のため前年度との比較無し		プランニング方略・認知的方略
5年生	77.4%	58.1%	柔軟的方略・プランニング方略・認知的方略
6年生	61.5%	26.9%	自己効力感・プランニング方略

※学習方略：柔軟的方略(学習の仕方を自分の状況に合わせて柔軟に変更していく活動)

プランニング方略(計画的に学習に取り組む活動)・認知的方略(より自分の理解度を深めるような学習活動)

自己効力感：非認知能力の一つで自分への自信・自己肯定力

★質問紙(よく当てはまる・少し当てはまると肯定的に回答した割合)★

「勉強のやり方が自分に合っているかどうか考えながら勉強する」:

4年生 70.1%(県平均+13.9) 5年生 69.4%(県平均+16.2) 6年生 54.8%(県平均+0.2)

今後も、児童が自分に合った学びにつながり、自ら進んで学びに向かい、学び続けることができるよう、一人一人に寄り添って支援していきます。